

平成24年度 第1回江戸川区景観審議会 意見の概要

平成24年9月13日(火)に第1回江戸川区景観審議会が開催され、「JR小岩駅周辺地区まちづくり」「学校改築」「景観まちづくり賞」「えどがわ百景、景観まちづくりワークショップ」の4点について、報告がありました。

■平成24年度 第1回江戸川区景観審議会 意見の概要

報告事項1	JR小岩駅周辺地区まちづくり
【景観ガイドライン(案)について】	
<ul style="list-style-type: none">○「空の広い駅、小岩」をみせるためにどうゆうすり鉢状にするかが大切。○建築が前面に出るのではなく、人が思わずにぎわっているいろいろな事をやりたくなりその背景としてふさわしい建築を考えなければいけない。○低層部の各所に小岩らしさを感じられるモチーフがあることにより、高層化の中にも魅力を発揮させることができるのではないか。	
報告事項2	学校改築
【松江第五中学校および春江小学校の計画説明】	
<ul style="list-style-type: none">○アクセントカラーを入れる際に軒天に色をつけることは多いと思う。ただし、色だけに頼りすぎるのではなく構造と一体化した色の使い方など工夫を行うべき。○全体的に白が勝ちすぎている印象があるため、全体的に融和的な感じにするか、アクセントカラーで少し彩りをつけるなどの工夫を図るといいのではないか。○学校は子どもが着ている服やカバンなどの色により色付けがされるため、無理に壁面に色をつけるのは良くない。塗るなら線などポイントにすると良いのではないか。○地域のシンボルとして学校の一部に地域の人に関われる空間や一つの壁面だけ子どもが塗るなどの愛着の持てる工夫があると良い。○樹木についてもクチナシのようににおいがいいとか、エディブル・ランドスケープという言葉があるように、食べられる種類のものや果物とかが入るのもいいと思う。このような子どもたちの感性を刺激する工夫が植栽計画に必要である。	

報告事項 3	景観まちづくり賞
<p>【第1回表彰式の報告】</p> <p>質疑なし</p> <p>【第2回景観まちづくり賞の実施案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○景観行政はどうゆう活動がこのまちに合うかを考えアピールすべき。 ○応募に関して簡略化を行い区民が盛り上げる手立てをどうやって作るかが必要。 ○景観まちづくり賞に関心のある方が応募をしたのだから、関心のある人と一緒にまちづくりをするシステムがあると良い。 	
報告事項 4	えどがわ百景、景観まちづくりワークショップ
<p>【えどがわ百景 PR 活動の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○百景の切手が完成し販売を行う事は区内外に広く周知出来るツールの一つである。 <p>【ワークショップ全体会の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運営の中でファシリテーター（中立的立場の調整役）を入れるべきである。 ○仲間内だけで話し合うのではなく、全体（お互いのグループ）で意見や提案を行うと活性化されると思う。 	